

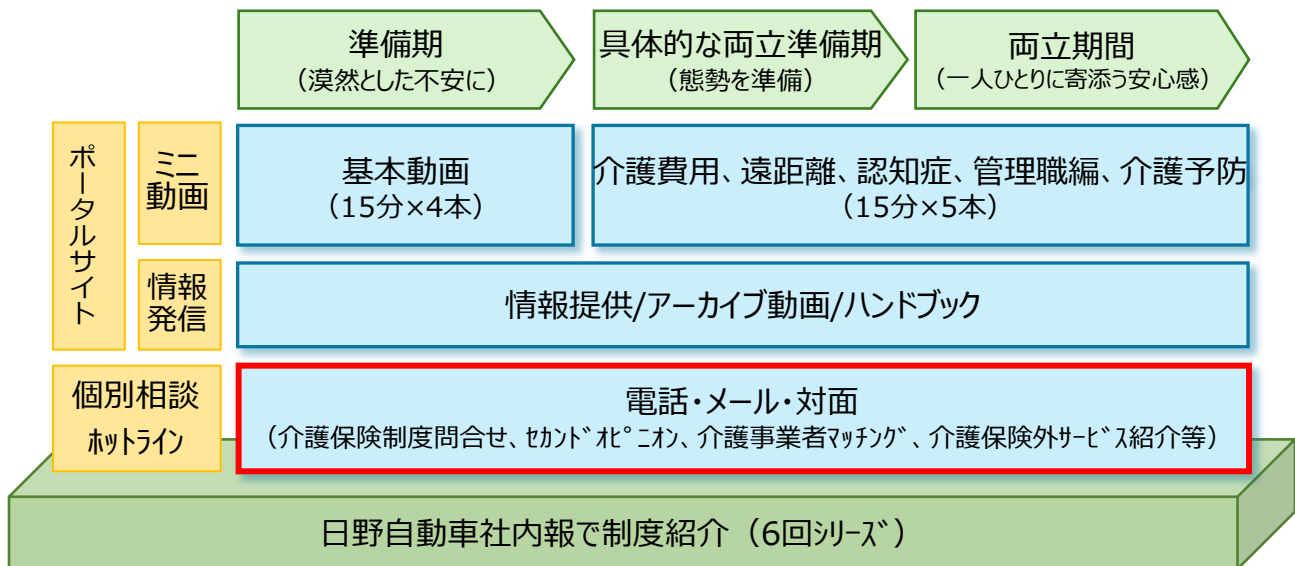
「仕事介護の両立支援制度」紹介
6 回シリーズ③（介護の専用窓口ホットライン）

ご存じですか？全国 1 年間で 10 万人の方が介護離職しています

2025 年問題（団塊世代が後期高齢者となる）当年となり、中高年の方はもちろん、20～30 代の若い世代までもが親・祖父母の介護に直面する可能性が高まっており、多くの方が漠然とした不安をお持ちだと思います。

福祉共済基金では 2017 年から介護の専門家(株)ベネッセ・シニアサポートと提携し介護離職防止に向けた支援策を導入しています。

「仕事と介護の両立支援」制度



今回のテーマ

仕事と介護の両立支援 介護の専用窓口 ホットライン

日野自動車社内報「フロントランナー」（2025 年 9 月号）に掲載された記事をご紹介します。

[→ 詳細は次ページをご覧ください。](#)

【お問い合わせ先】日野自動車福祉共済基金 fukushikyosai@hfkk.hino.co.jp

[日野自動車福祉共済基金ホームページ](#)

お役立ち k i k i n

#05

仕事と介護の
両立支援制度
第3回目

「福祉共済基金って、ワタシと関係あるの？お祝い事やお悔やみ事もないし・・・」
実は“仕事と介護の両立支援”や“ご家族の終活支援”など
お役に立てることをいろいろやっています！会員の皆様にぜひ知っていただきたいことを、
6回シリーズで「仕事と介護の両立支援」制度についてご紹介します。

急な親の入院・・・仕事と両立していけるのか？

介護が必要になる原因の第一位は、女性は認知症、男性は脳血管疾患です。

脳血管疾患は突然発症することが多く、発症直後は症状が不安定なため、専門的な治療がすぐに受けられる急性期病院に入院します。急性期病院の平均在院日数は年々短くなっており、現在は16日を切っています。リハビリテーションの必要性などから、脳血管疾患は他の疾患と比べると長期入院の傾向がありますが、約2割※の方は14日以内に退院しています。

脳血管疾患は後遺症が残ることもあり、退院後もこれまでと変わらない生活を続けられるとは限りません。入院した時点から、今後の生活環境がどのように変化するかを医師やケアマネージャーなどと相談し、在宅介護をするのか、施設入居を検討するのかなど、介護の

●【2022年】男女別要支援・要介護状態になる主な原因(65歳以上)

男性			女性		
順位	原因疾患	構成割合	順位	原因疾患	構成割合
1位	脳血管疾患	25.2%	1位	認知症	18.1%
2位	認知症	13.6%	2位	骨折・転倒	17.7%
3位	高齢による衰弱	8.6%	3位	高齢による衰弱	15.6%
4位	骨折・転倒	6.6%	4位	関節疾患	12.7%
5位	心疾患	6.5%	5位	脳血管疾患	11.2%

〔2022年国民生活基礎調査〕(厚生労働省)における要支援・要介護状態になった者の主な原因別の構成割合をもとに株式会社ベネッセシニアサポートにて作成

態勢を整えるように動く必要があります。
大切なのは、すべて自分で対応しようとするのではなく、仕事と介護の両立を前提に、専門職の助言も仰いであうで、対応策を考えることです。自分自身の生活も維持しながら、親をサポートする方法を考えるようにしましょう。

※〔令和5年患者調査〕(厚生労働省)における循環器系の疾患(くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化、その他の脳血管疾患)の入院期間をもとに株式会社ベネッセシニアサポートにて作成

介護の専門職が対応 介護の専用窓口 ホットライン

親が急に倒れ、介護が必要になったと聞いて、慌てない人はいません。何からやればいいのかわからない際は、ベネッセの直雇用相談員(介護の専門職)がオンラインや電話で相談に乗る、ホットラインをご活用ください。

相談員によるスピーディな対応

介護のプロである相談員(ベネッセシニアサポートの社員)が、現在の介護の課題を明確にし、課題解決に向けて必要な観点などを詳しくアドバイスします。また、介護保険制度外のサービスや地域の福祉サービスも含め、様々な介護サービスをご紹介します。

仕事面のお悩みにも対応

仕事と介護の両立支援のための相談窓口として機能します。介護休業など各種制度の使い方をアドバイスするほか、仕事面における課題、両立するための働き方、職場でのコミュニケーションの取り方のお悩みなどのご相談にも応じます。

施設入居に関する情報提供

ベネッセシニアサポートの施設紹介サービスをご利用いただけます。ご希望の方には、空室状況や受入実績、サービスの質など、施設に関する最新の情報をご提供します。
※全国7700施設以上、運営事業社540社以上の中からご紹介いたします(2025年7月現在)。



全ての情報はホームページにあります！

- ホットラインはこちらから…福祉共済基金ホームページ ▶ 介護情報の提供と相談窓口

URL <https://www.hinofukushikyosai.jp/#kaigo>

二次元コード
<スマホ対応>



- お問合せ先 HIMAILアドレス「福祉共済基金本部事務局」
(fukushikyosai@hfkk.hino.co.jp)

担当者不在の場合もありますので、メールでのお問合せにご協力をお願いいたします。

